

# 子育てサポーター養成講座

今年度も大河原教育事務所を会場に、子育てサポーター養成講座を実施しました。この講座の趣旨は、主に幼児や小学生、中学生の子どもをもつ親に対して、子育てやしつけなどについて気軽に相談に応じたりアドバイスを行ったりする人材を養成することにより、家庭教育や子育てに悩む親を地域全体で支援しようとする環境と社会意識の醸成を図るとしています。

4名の講師陣には、子育て・家庭教育支援に必要な基礎知識と実践についてお話しいただきました。受講者は、今日的課題について理解を深めるとともに、笑いあり、感動ありの有意義な時間を過ごしました。修了した受講者には、修了証が手渡されました。今後、地域でご活躍されることを期待しております。



宮城県地域活動「母親クラブ」連絡協議会  
会長 佐々木 とし子 氏

- 励ますことも大切ですが、まずは、話をよく聞いてあげることが理解への近道だと理解できました。
  - 早口言葉や手遊びが楽しかったです。絵本の読み聞かせも感動しました。購入して今後に生かしたいです。
  - 子育ての「昔」と「今」について理解できました。
- (受講者アンケートより)

## 領域1「家庭教育支援の理解」

～今求められている家庭教育支援とは～



尚綱学院大学子ども学科  
教授 安藤 正樹 氏

- とても楽しかったです。実践の中に、しっかりと理論的な部分も組み込まれていてよかったです。
  - 子供とふれあう場面の中で、「伝承遊び」をしっかりと取り入れていきたいです。
  - 一工夫することの大切さを学びました。
  - お手玉やこま、アルソミトラ（紙ヒコーキ）の演習がとても楽しかったです。
- (受講者アンケートより)

## 領域2「子どもの理解とかかわり方」

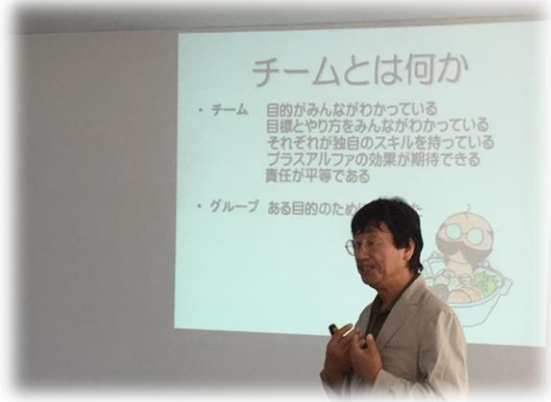
～伝承遊びの楽しさを探る～



宮城県富谷市教育委員会  
教育相談員 新沼 喜久子 氏

○子育てサポーターとして、どの程度お話を聞くことができるかわかりませんが、寄り添うことはできるのかなと気づきました。  
○事例に基づいてのお話が大変参考になりました。「問いつめる」のではなくて「問いかける」かわり方をしていきます。  
○子供を伸ばす方法の話の中にこれからの活動に役立つヒントがたくさんありました。  
(受講者アンケートより)

領域3「親の理解とかかわり方」



お父さんたちのネットワーク  
世話人 石垣 政裕 氏

○「おやじの会」について初めて知りました。すてきな活動をしていると感動しました。  
○若い世代の方々に、ぜひ聞いていただきたい内容でした。機会があればいいですね。  
○多くの経験をされてきたことが分かる内容でした。地域の中に、石垣先生のようなチームをまとめ、牽引する方が必要であるとあらためて実感しました。  
(受講者アンケートより)

領域4「総合的な理解～地域活動、父親の教育参画」

## 県教育庁生涯学習課からのお知らせ

### 子育てサポーターリーダー養成講座

受講期間 令和元年9月4日(水)～令和元年12月4日(水) ※全4回

受講対象 県主催の「子育てサポーター養成講座」を修了した方

各市町村主催「子育てサポーター養成講座」を受講した方

地域学校協働活動推進事業実施市町村家庭教育支援チーム員

※以上の要件に該当する方は、原則として全4回出席できる方に限ります。

市町村行政担当者(保健福祉部門・教育委員会)

会場 県行政庁舎1階 みやぎ広報室 ほか

申込締切 令和元年7月31日(水) お問い合わせ 宮城県教育庁生涯学習課 TEL:022-211-3654